

札幌遊協と共同で不正対策 450人が「2講演」熱心に

札幌方面遊技事業協同組合、札幌遊技業協同組合、札幌遊技業支配人会、日遊協北海道支部の4団体が共催する健全営業推進セミナーが10月28日、札幌市の札幌コンベンションセンターで開かれ、ホール関係者を中心に約450人が熱心に聴講した。

ゴト対策セミナーは札幌遊協等が従来から開催しているが、日遊協も09年から全国の支部単位で不正対策勉強会開いており、今回初めて、より広い参加を募るために両者が共同開催の形をとった。日遊協独自の不正対策勉強会としては、ことしは6、7月に東京、名古屋、福岡、大阪、福岡の5個所で各支部が主催して集中的に開かれている。

健全営業推進セミナーは2部構成で、午前中の第1部は札幌方面遊協、朴耕成理事長の挨拶の後、「いパチンコ有責任事業組合」代



挨拶する松谷北海道支部長

表組合員ボンベイ吉田氏が「それをやったら嫌われる」スリープユーザーの悲鳴と取り込み」と題してお客様の機械やホールに対する不満、ホールの運営とお客様の感覚のズレなどを挙げて講演した。第1部の最後に日遊協北海道支部、松谷明良支部長が挨拶した。

「攻めの接客」が一番効果

午後の第2部はゴト対策セミナーで、日遊協、深谷友尋会長が挨拶でゴト対策の必要性を説いた。続いて(有)ジャパン・セキュリティ・サービス代表、高石隆一氏が「ゴト犯罪に負けない札幌共同戦線」

ゴトの手口と対応方法の注意事項」と題して、最近のゴト事情とゴト師の傾向について、実際の犯行映像を使って講演した。同氏はゴトに対しては店のルールに則って毅然と対応することが必要と説き、その上で、ゴト師たちは傷害もいとわれない危険なグループだから、ホールスタッフだけでなくお客様にも危険が及ぶ恐れがあり、「警察到着まで、ホールスタッフはゴトグループに近づかず、泳がせておくこと」と念を押した。さらに警察到着までの対処事項として、
① 犯行映像の録画 ② データの収集 ③ ゴト仲間や使用車両の確認 ④ 計数機を故意に「故障」させるなどの時間稼ぎ——などを挙げた。同氏は最後に「挙動が気になる見慣れない人を見つけたら、笑顔でさりげなく『どうですか』と話しかけてみる。本物のゴト師だと犯行がやりにくくなる。ふつうのお客様なら、店に好感を持ってリピートしてくれるかも知れない。このような『攻めの接客』が最高のセキュリティ」と結んだ。

隣接の会場では、周辺機器メーカーを中心に36企業の展示ブースが並び、人気を集めた。

ゴト対策で充実の勉強

東北支部は10月5日、仙台市のパレスへいあんで「研修会・親睦会」を開催した。木村一雄支部長は「きょうはゴト対策の講演が用意されています。ゴトは、より巧妙になっています。対策は永遠の課題です」とあいさつした。続いて深谷友尋会長も「日遊協はセキュリティ対策委員会、不正対策勉強会をはじめゴト対策に力を注いでいます。きょうもしっかり勉強してください」と強調した。

講演は、(有)ジャパン・セキュリティ・サービスの高石隆一代表取締役が、「最近のゴト情勢について」と題して行った。動画の映像をふんだんに使い、具体的に印象的なスピーチで参加者を引きつけていた。続いて親睦会に移り、県遊協販社などのお客様と歓談が盛りあがった。



あいさつする木村一雄支部長

日遊協が皇居、赤坂御用地で勤労奉仕

両陛下下からねぎらいのお言葉

日遊協皇居勤労奉仕団20人が9月27日から30日までの4日間、皇居と赤坂御用地で草取り、落ち葉掃除などの勤労奉仕をした。

20人は東京都・関東支部の会員企業と日遊協事務局からの志願者で、全員男性。22歳から63歳までの幅広い年齢層だ。全員が共生の森活動で使用する緑色のキャップをかぶり、軍手にジャージの動きやすい服装で臨んだ。毎日午前8時までに皇居の桔梗門（赤坂御用地での奉仕の時は御用地の西門）に集合し、同8時15分に参入、8



草取りなどに汗を流した日遊協勤労奉仕団（撮影：宮内庁）

時間弱の作業をして午後4時に退出した。

20人4日間、草取りなど

勤労奉仕は27、29、30日に皇居、28日に赤坂御用地で行われた。29日午後、皇居大番所で奉仕活動中、天皇、皇后両陛下がご会釈され、両陛下から「どのような集まりなのでしょうか」とのお問いかけがあった。白石良二団長が日遊協組織についてと、支部ごとに行っているボランティア活動や共生の森についてご説明し、「業界は厳しいものがあります、日本固有の遊びのパチンコをなくすことはできないので、横断的な日遊協が先頭に立って守っていかねばいけないと感じています」と述べた。

両陛下から「どうぞお身体を大切にされて、これからお元気で過ごしてください」と、ねぎらいのお言葉があった。

28日の赤坂御用地での奉仕活動では皇太子殿下がご会釈された。殿下から日遊協の活動についてお

問いかけがあり、白石団長がとくに共生の森の活動についてご説明した。殿下は「これからもご健康でお過ごしください」と一同をねぎらわれた。

日遊協皇居勤労奉仕団のメンバーは次の通り。（順不同・敬称略）

- 「団長」白石良二（株）千歳観光、
- 「副団長」茂木欣人（ピーアークホールディングス（株））、
- 「団員」峰岸周（サンキョー（株））、石井光（同）、山本研人（同）、岡澤智（株）ヒノックス、遠山利樹（同）、松井公司（株）東和産業、馬宮正樹（同）、菊池哲也（同）、荒井雅俊（同）、横山樹（株）千歳観光、滝澤英司（株）安田屋、松本圭司（株）金馬車、加藤雅也（ピーアークホールディングス（株））、野月正浩（同）、猿渡幹夫（同）、呉哲雄（同）、薛博夫（富国物産（株））、江口憲治（日遊協事務局）

人材育成委員会

10月8日
本部会議室
出席委員等8人

1000人目標に詰め
就職説明会でブース設計

11月6、7日に東京ビッグサイトの「リクナビLIVE 開幕★LIVE」に日遊協として初参加

し展示する「パチンコ産業合同就職説明会」について、（株）リクルートの担当者とともに詰めめの作業をした。ブース内のレイアウト・装飾（講演紹介パネル、パンフレット展示、ポスター等）、着席した学生に配付するノベルティグッズ、当日の各委員の役割分担などを確認した。ブースは席数50席。2日間の来場者数1000人を目標としている。

経営改革委員会

10月12日
本部会議室
出席委員等13人

重点課題に労務問題

管理職問題、セクハラなど

前回に引き続き、経営コンサルタント、瀬本博一氏（株）CES代表取締役、NPO法人PRENE T21代表）がアドバイザーで出席し、消費税問題とは別に今後、委員会で取り上げていく重点課題として労務問題について討議した。

労務に関してこれから顕在化する可能性のある問題として、残業手当などが関係するホールの管理職の定義、セクシャルハラスメントやパワーハラスメントなどが取り上げられた。

3タイプに絞って試作 「わかりやすいセット」など

遊技機開発委員会が中心になって、来年2月26日（土）に東京・墨田区のすみだ産業会館サンライズホールで開催を予定しているファン対象の開発機の試打・ヒアリング会に、社会貢献・環境対策委員会がエコ活動をテーマに加わることで決まった。今後、両委員会の選抜メンバーが協議して試打・ヒアリング会の企画書のたたき台を作



ファン対象の試打・ヒアリング会に向けて話し合った遊技機開発委員会

り、委員会に諮りながら企画内容は固めて行く。同時に遊技機健全化委員会、同友会遊技機部会にも協力を要請、これらの委員会・部会でプロジェクトチームをつくって当日の運営にあたっていく方針を承認した。

このあと、パチンコ、パチスロの班に分かれて、新しく開発する遊技機の方向性を話し合った。パチンコ班では、機種をわかりやすいセットタイプ、ストレスを感じにくいSTタイプ、短時間勝負ができるルーブタイプの3タイプに絞った。各タイプについて理想の仕様を検討し、各メーカーの現行製品の中からベースにする機種を選びたいとしている。また、左打ち機械についても検討したいとしている。予定では、11月に試作機を製作し、一次、二次の検討会を経て1月に展示機種を決める。また、試打・ヒアリング会の後、提言書

を作成するが、テーマとしてハンドル固定、音の問題などが挙げられた。

パチスロは「現機の改良」も

一方パチスロ班では、「未来型」としてパチンコ班が提案しているセットタイプ、STタイプ、ルーブタイプをパチスロに応用したもの、ネットゲームのように通信でつながってゲーム性が楽しめるものが提案された。これとは別に、離反したユーザーを戻すために現行機種を改良したものが提案された。現行の数機種を具体的に指定し、当該メーカーに改良の可能性を打診しながら計画を進めることになった。

遊技機健全化委員会

10月15日
本部会議室
出席委員等16人

県遊協と共同開催も 「勉強会」講師も幅広く

来年の不正対策勉強会の日程と内容、日遊協内部でのゴト情報共有化、誤差玉の原因と不正との関係の3項目について、3つの班に分かれて討議した。
来年の不正対策勉強会について

は、東京、名古屋、大阪、福岡、広島、札幌の6会場での開催と、広く参加を募るために各県遊協との共同開催が望ましいとの提案があった。不正対策勉強会は来年で3年目になるが、今年は札幌を除く5会場は日遊協の各支部主催で6、7月に集中的に開かれ、札幌では10月に日遊協北海道支部と札幌方面遊協などとの共催で開かれた。

講師については固定化せずいろいろなセキユリティー会社を視野に入れて選ぶこと、参加者が自分の会社や店で正確に報告できるように、持ち帰り用資料を充実させることなどが話し合われた。

社会貢献・環境対策委員会

10月8日
本部会議室
出席委員等14人

植樹の役割分担決める

10月30日に共生の森（埼玉県嵐山町花見台地区）で行われる第3回植林活動について、スケジューラや各委員の役割分担などについて詰めの打ち合わせが行われた。

来年春を目標に、「環境フォーラム」を開催する方向で意見を申し合った。

第1回エッセー・絵手紙コンクール

11月1日から募集開始
一般も業界も
同じテーマで

「パチンコ・パチスロ論文・作文コンクール」に代わる「第1回パチンコ・パチスロ『エッセー・絵手紙』コンクール」の作品募集が11月1日から始まった。来年2月28日に締め切られる。募集ポスター（B2判、4色刷り）は3000部が印刷され、10月下旬に発送を終えて、会員企業の店舗・事務所、協賛団体や協力団体・企業の店舗等へ貼り出された。今回の募集テーマは「パチンコと私」「パチスロと私」「未来のパチンコワールド」の3つ。「論文・作文コンクール」のように一般、業界の区分はせず、どのテーマも参加自由。

日遊協会員企業からこぞっての応募を期待している。一般からもパチンコ・パチスロをする・しないにかかわらず参加を募っていく。締め切り後の日程は、来年3月中に第1次選考、4月中下旬に第2次選考、5月に最終選考と入賞者の決定があり、6月9日の日遊協通常総会で入賞者を表彰する予定となる。

広報委員会

10月14日
本部会議室
出席委員等12人

「絵手紙」PRを特に強化

作品募集開始（11月1日）を目前



「第1回パチンコ・パチスロエッセー・絵手紙コンクール」の作品募集を呼びかけるポスター

に、「第1回パチンコ・パチスロ『エッセー・絵手紙』コンクール」の最終的な確認が行われた。募集ポスター、チラシの試作が提示され、デザインの手直しが加えられるとともに、

第1回パチンコ・パチスロ エッセー・絵手紙 コンクール応募要項

あなたの「思い」を言葉や絵で

テーマ（一般、業界ともに同じ）

「パチンコと私」「パチスロと私」「未来のパチンコワールド」

- エッセー、絵手紙ともに、テーマの中から自由に選んで応募して下さい。
- エッセーは2000字以内でまとめて、なるべく電子メールで送稿してください。
- 絵手紙は市販のハガキに絵と文字で作成してください。
- 住所・氏名・年齢・職業・電話番号（携帯も可）を明記して、電子メールまたは下記事務局まで封書でお送りください。

募集期間 2010年11月1日（月）～2011年2月28日（月）

発表 2011年6月9日（日遊協ホームページ）

エッセー 最優秀賞 旅行券30万円分1人 優秀賞 旅行券10万円分2人

絵手紙 最優秀賞 旅行券15万円分1人 優秀賞 旅行券5万円分2人

その他入賞多数（エッセー佳作2万円分10人、絵手紙佳作1万円分10人）

応募先及びお問い合わせ先

E-mail : bosyu@nichiyukyo.or.jp

社団法人日本遊技関連事業協会コンクール事務局

〒104-0033 東京都中央区新川2-12-15 ヒューリック八丁堀ビル2F

TEL 03-3553-4333 FAX 03-3553-4334

http://www.nichiyukyo.or.jp

応募された個人情報については、個人情報に関して摘要される法令や規範を遵守し、コンクールの目的以外には一切使用致しません。

主催 社団法人日本遊技関連事業協会 協賛 全日本遊技事業協同組合連合会・日本遊技機工業組合・日本電動式遊技機工業協同組合・全国遊技機商業協同組合連合会・回胴式遊技機商業協同組合・遊技場自動サービス機工業会

印刷枚数と費用の確認が行われた。日遊協ホームページや携帯サイトへの掲載、公募雑誌への掲載が報告された。その他、露出度を高めるために共同通信PRワイヤー、ツイッターなどの活用、共生の森

や合同就職説明会などでのチラシ配付、日遊協や関係団体のイベントの活用などが提案された。とくに絵手紙についてはもっと一般の認知が必要として、共生の森のイベントに加えることにした。